



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス

コード番号 4812 URL <http://www.isid.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 釜井 節生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 酒井 次郎

TEL 03-6713-6160

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	33,867	10.5	1,477	65.6	1,609	58.2	946	32.1
24年3月期第2四半期	30,638	6.1	892	—	1,017	—	716	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 626百万円 (△24.6%) 24年3月期第2四半期 830百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	29.03	—
24年3月期第2四半期	22.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	53,538	—	34,855	—	—	65.1
24年3月期	52,295	—	34,281	—	—	65.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 34,829百万円 24年3月期 34,281百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,700	6.0	3,380	43.9	3,450	38.2	2,100	38.5	64.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	32,591,240 株	24年3月期	32,591,240 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	7,990 株	24年3月期	7,990 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	32,583,250 株	24年3月期2Q	32,583,421 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、4ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、復興需要等を背景に緩やかな回復基調を示していたものの、欧州債務危機の長期化や新興国の景況感悪化から、回復の動きに足踏みが見られ始めております。情報サービス産業におきましても、金融業や製造業のIT投資に持ち直しの動きがあったものの、景気減速懸念から、急速に不透明感が増しております。

かかる状況の下、当社グループは、前期にスタートさせた3ヵ年の中期経営計画「ISID Open Innovation 2013」の推進を通して、業績の拡大に取り組んでおります。この中期経営計画においては「価値協創」をテーマに掲げ、お客様、電通グループ、その他のあらゆるパートナーとのコラボレーションを通じて時代を先取りした新しい価値を創出し、お客様や社会の課題解決に貢献することを目指しております。

計画2年目となる当連結会計年度におきましても、競争優位性をさらに追求するため、ソフトウェア製品や新規サービスの研究開発を積極的に実施するほか、グローバルビジネスの拡大、クラウドソリューションの拡充・強化、顧客インサイトの深耕等により、売上高ならびに利益の拡大を図っております。また、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社アイエスアイディ・フェアネスを連結の範囲に含めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比増収の33,867百万円(前年同期比110.5%)となりました。当社グループが展開する4つの事業セグメントのうち、エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメントは若干減収となったものの、金融ソリューションセグメント、エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント、コミュニケーションITセグメントが増収を牽引しました。

増収効果により、売上総利益は10,641百万円(前年同期比109.8%)となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発活動の拡大等により前年同期比増加の9,163百万円(前年同期比104.2%)となりましたが、売上総利益の増益により吸収し、営業利益は1,477百万円(前年同期比165.6%)、経常利益は1,609百万円(前年同期比158.2%)、四半期純利益946百万円(前年同期比132.1%)とそれぞれ増益となりました。

事業セグメント別の売上高および営業の状況は以下のとおりです。

## ■事業セグメント別売上高

事業セグメント	前第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
金融ソリューションセグメント	8,801	28.7	9,561	28.2	108.6
エンタープライズソリューション・ ビジネス系セグメント	6,679	21.8	6,537	19.3	97.9
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系セグメント	9,473	30.9	9,583	28.3	101.2
コミュニケーションITセグメント	5,684	18.6	8,184	24.2	144.0
合計	30,638	100.0	33,867	100.0	110.5

(注)「金融ソリューションセグメント」では、金融業界を対象とした各種金融サービスに関わるソリューションを提供します。「エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント」では、全業種・業界を対象とした各種基幹システムに関わるソリューションや主に経営管理分野を対象としたビジネス系ソリューションを提供します。「エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント」では、主に製造業界の製品開発・製造分野を対象としたエンジニアリング系ソリューションを提供します。「コミュニケーションITセグメント」では電通グループとの協業による企業向け各種ソリューションを提供します。

## ■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューションセグメント 9,561百万円 (前年同期比108.6%)

単体ならびに上海現地法人や米国現地法人において、受託システム開発の売上がメガバンク、地域金融機関、リース会社、損保等向けに拡大したことに加え、株式会社アイエスアイディ・フェアネスを第1四半期から連結の範囲に含めたことから、当セグメントの売上高は増収となりました。

エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント 6,537百万円 (前年同期比97.9%)

人事管理パッケージ「POSITIVE (ポジティブ)」の販売が好調に推移したものの、会計分野ならびに基幹システム分野が伸び悩んだことから、当セグメントの売上高は減収となりました。

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント 9,583百万円 (前年同期比101.2%)

CADやPLMなど製品開発支援ソフトウェアの販売は、主要顧客向けの導入が前期に終了したことによる反動減で減収となったものの、製品開発プロセスの上流工程である構想設計や解析・実験等を対象としたコンサルティングサービスならびに構想設計ソリューション「iQUAVIS (アイクアビス)」が自動車業界向けを中心に拡大したことから、当セグメントの売上高は増収となりました。

コミュニケーションITセグメント 8,184百万円 (前年同期比144.0%)

電通から大型の基幹システム構築プロジェクトを受注したことに加え、電通グループとの協業によるビジネスが拡大したことから、当セグメントの売上高は増収となりました。電通グループとの協業においては、セールスフォース・ドットコム社が提供するクラウド型プラットフォーム「Force.com」を活用した、アジャイル型のアプリケーション開発サービスが好調に推移しています。

サービス品目別の売上高および営業の状況は以下のとおりです。

## ■サービス品目別売上高

サービス品目	前第2四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
コンサルティングサービス	1,035	3.4	1,278	3.8	123.5
受託システム開発	9,168	29.9	11,152	32.9	121.6
ソフトウェア製品	3,807	12.4	4,011	11.8	105.4
ソフトウェア商品	10,628	34.7	11,167	33.0	105.1
アウトソーシング・運用保守サービス	2,752	9.0	3,090	9.1	112.3
情報機器販売・その他	3,245	10.6	3,166	9.4	97.6
合計	30,638	100.0	33,867	100.0	110.5

(注)「コンサルティングサービス」は、業務およびITのコンサルティングサービスです。「受託システム開発」は、顧客の個別仕様に基づくシステムの構築および保守です。「ソフトウェア製品」は、自社開発ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「ソフトウェア商品」は、仕入ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「アウトソーシング・運用保守サービス」は、顧客システムの運用・保守・サポート、ならびに業務の受託サービスです。「情報機器販売・その他」は、ハードウェアならびにデータベースやミドルウェア等のソフトウェアの販売および保守です。

## ■サービス品目別営業の状況

コンサルティングサービス 1,278百万円 (前年同期比123.5%)

製品開発プロセスの上流工程である構想設計や解析・実験等を対象としたコンサルティングサービスが、自動車業界向けを中心に好調に推移していること等から、当サービスの売上高は増収となりました。

受託システム開発 11,152百万円 (前年同期比121.6%)

電通から大型の基幹システム構築プロジェクトを受注したことに加え、メガバンク、地域金融機関、リース会社、損保向けも拡大したことから、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア製品 4,011百万円 (前年同期比105.4%)

人事管理パッケージ「POSITIVE」の販売が好調に推移したことに加え、構想設計ソリューション「iQUAVIS」が自動車業界向けに拡大したこと等から、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア商品 11,167百万円 (前年同期比105.1%)

CADやPLMなど製品開発支援ソフトウェアの販売は、主要顧客向けの導入が前期に終了したことによる反動減で減収となったものの、セールスフォース・ドットコム社が提供するクラウド型プラットフォーム「Force.com」のライセンス販売、ならびに「Force.com」上のシステム構築サービスが拡大したこと等から、当サービスの売上高は増収となりました。

アウトソーシング・運用保守サービス 3,090百万円 (前年同期比112.3%)

株式会社アイエスアイディ・フェアネスを第1四半期から連結の範囲に含めたこと等により、当サービスの売上高は増収となりました。

情報機器販売・その他 3,166百万円 (前年同期比97.6%)

基幹システム分野が厳しく推移したことに伴って、付随する情報機器の販売が伸び悩んだことから、当サービスの売上高は減収となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債および純資産の状況

## ① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、主として預け金、前渡金およびたな卸資産の増加により流動資産が1,631百万円増加した一方、主として時価変動による投資有価証券の減少により固定資産が388百万円減少した結果、前連結会計年度末の52,295百万円から1,243百万円増加し、53,538百万円となりました。

## ② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の部は、主として前受金の増加や買掛債務の減少により流動負債が1,049百万円増加した一方、主としてリース債務の減少により固定負債が380百万円減少した結果、前連結会計年度末の18,013百万円から670百万円増加し、18,683百万円となりました。

## ③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、主として四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方、時価変動・為替変動によりその他の包括利益累計額が減少した結果、前連結会計年度末の34,281百万円から573百万円増加し、34,855百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

上半期の業績は期初計画を上回ったものの、欧州の債務危機や新興国の景気減速等により先行きに対する不透明感が強まっていることから、通期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に発表いたしました業績予想より変更はございません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,741	2,896
受取手形及び売掛金	15,672	15,046
商品及び製品	72	56
仕掛品	867	1,227
原材料及び貯蔵品	23	18
前渡金	3,957	4,905
預け金	8,096	9,263
その他	2,312	1,958
貸倒引当金	△27	△26
流動資産合計	33,716	35,347
固定資産		
有形固定資産	6,024	5,904
無形固定資産		
のれん	133	114
その他	4,663	4,584
無形固定資産合計	4,796	4,699
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,760	7,589
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,758	7,587
固定資産合計	18,579	18,191
資産合計	52,295	53,538
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,402	4,793
未払法人税等	311	369
前受金	4,096	5,668
受注損失引当金	393	8
その他	4,797	5,210
流動負債合計	15,001	16,050
固定負債		
役員退職慰労引当金	62	28
資産除去債務	717	756
その他	2,232	1,847
固定負債合計	3,012	2,632
負債合計	18,013	18,683



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	9,979	10,851
自己株式	△28	△28
株主資本合計	33,417	34,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,182	998
繰延ヘッジ損益	28	△13
為替換算調整勘定	△346	△445
その他の包括利益累計額合計	864	540
少数株主持分	—	25
純資産合計	34,281	34,855
負債純資産合計	52,295	53,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	30,638	33,867
売上原価	20,948	23,226
売上総利益	9,690	10,641
販売費及び一般管理費	8,797	9,163
営業利益	892	1,477
営業外収益		
受取利息	27	29
受取配当金	21	16
持分法による投資利益	—	2
為替差益	49	68
雑収入	68	36
営業外収益合計	167	155
営業外費用		
支払利息	22	21
持分法による投資損失	16	—
雑損失	3	1
営業外費用合計	42	22
経常利益	1,017	1,609
特別利益		
投資有価証券売却益	106	—
特別利益合計	106	—
特別損失		
固定資産除却損	—	79
特別損失合計	—	79
税金等調整前四半期純利益	1,124	1,530
法人税、住民税及び事業税	227	374
法人税等調整額	179	205
法人税等合計	407	579
少数株主損益調整前四半期純利益	716	950
少数株主利益	—	4
四半期純利益	716	946

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	716	950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	△184
繰延ヘッジ損益	△30	△41
為替換算調整勘定	△104	△98
その他の包括利益合計	113	△324
四半期包括利益	830	626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	830	621
少数株主に係る四半期包括利益	—	4

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	金融ソリューション	エンタープライズソリューション・ビジネス系	エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	コミュニケーションIT	
売上高					
外部顧客への売上高	8,801	6,679	9,473	5,684	30,638
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,801	6,679	9,473	5,684	30,638
セグメント利益又は損失(△)	401	△228	252	466	892

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	金融ソリューション	エンタープライズソリューション・ビジネス系	エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	コミュニケーションIT	
売上高					
外部顧客への売上高	9,561	6,537	9,583	8,184	33,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,561	6,537	9,583	8,184	33,867
セグメント利益又は損失(△)	544	△361	52	1,242	1,477

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

主として連結財務諸表提出会社の顧客に導入される情報システム及びそのソフトウェアの稼働時期は、期首及び第3四半期会計期間期首からとなる場合が多いため、多くの顧客の決算期（年度末）である3月及び第2四半期会計期間末である9月にシステム開発の完了又はソフトウェアの出荷・納入が集中します。そのため、当社グループの売上は3月及び9月に集中する傾向があり、当社グループの生産、受注及び販売実績は季節の変動があります。

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
金融ソリューション	7,549	104.6
エンタープライズソリューション・ビジネス系	3,401	96.8
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	1,800	117.4
コミュニケーションIT	4,273	186.4
合計	17,025	116.9

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）における生産実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
受託システム開発	11,249	118.1
ソフトウェア製品アドオン開発	2,004	104.2
ソフトウェア商品アドオン開発	3,771	121.4
合計	17,025	116.9

- (注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。  
2. 金額は、販売価格に換算して表示しております。  
3. 金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（百万円）	前年同四半期比（%）	受注残高（百万円）	前年同四半期比（%）
金融ソリューション	8,805	115.7	4,346	152.7
エンタープライズソリューション・ビジネス系	3,141	72.6	1,476	73.3
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	1,921	115.7	493	133.2
コミュニケーションIT	7,190	296.1	3,399	1,014.6
合計	21,058	131.4	9,716	174.5

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）における受注状況をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
受託システム開発	15,080	145.4	7,392	216.5
ソフトウェア製品 アドオン開発	1,986	109.1	1,183	130.3
ソフトウェア商品 アドオン開発	3,991	104.1	1,140	91.6
合計	21,058	131.4	9,716	174.5

- (注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。  
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金融ソリューション	9,561	108.6
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	6,537	97.9
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	9,583	101.2
コミュニケーションIT	8,184	144.0
合計	33,867	110.5

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）における販売実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
コンサルティングサービス	1,278	123.5
受託システム開発	11,152	121.6
ソフトウェア製品	4,011	105.4
ソフトウェア商品	11,167	105.1
アウトソーシング・運用保守サービス	3,090	112.3
情報機器販売・その他	3,166	97.6
合計	33,867	110.5

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通	4,530	14.8	6,341	18.7